



技術者に望む

鑛山局鑛業課長

平塚保明

昨年銅價格差補給金の撤廢は金屬鑛業界に重大な影響を及ぼしたが、その結果は好むと好まざるに拘らず自主的の立ち直りを促進せしめたことは事實であつて、鑛山現場に於ては從來に増して能率の向上、技術の改善に努力が續けられた。又協會に於ては各技術委員會及銅合理化委員會を中心とする技術顧問の活躍により着々と其の成果を擧げ、再建の彼岸へと近づきつつあることは洵に御同慶に堪えない。

最近の鑛業技術上の進歩として特に顯著なものは「デタツチャブル・ビット」の完成活用、「バーンカット」法の採用、重液選鑛法の實用化であり又鑛床地質學の實地活用による探鑛作業の能率化も記録さるべきことであらう。

他方豫ねてから要望されていた技術者の米國への視察渡航も逐次許可され、今後は先進國の新しい技術の導入も一層容易となり他面國內の技術を刺激し、業界の發達に資することは多大なものがある。

我々はこれら新しい技術の獲得に努力を拂わねばならないが、同時に日常作業に於ける技術管理がはたして現在充分に行つていゝかどうかを再検討する必要があるのではなからうか。

しばしば坑内で送風管の繼目から盛んに空氣が漏れている場面につかる。選鑛場では機械の傳導装置が傷んで徒らに音を響かせていたり、必要以上に水を流し放しにしていたり、精鑛の取扱が不完全で人の出入の度に足裏に附着して運び去られている。焙燒爐、燒結爐の附近には鑛石が一面に飛散していたり、折角の燒鑛が運搬途中で破れた鑛車の孔から流れ出てロスとなつていゝことなど、今でも尙各所で遺憾ながらしばしば見掛けられる事實だ。

これらのことは、ほんの僅かの注意と努力で防げる損失であつて、特に現在問題となつていゝ電力の節約の上からも能率増進の面から至急に改善すべきことである。新技術の導入は勿論大いに奨励しなければならぬが、兎角に慣れつこになり輕視され勝る日常の技術管理の面に於て、敢えて再考を煩わす次第である。

日本鑛業協會誌 (第三卷第三號)

三月號 目次

(巻頭言)

☆技術者に望む……………平塚保明…三

— 特 輯 —

◎昭和二十四年度わが國鑛業の概要……………四

總括、生産概況、技術(探査、探鑛技術、製鍊)、
勞務、資金、價格、地金、鑛石、資材、輸送、
(鐵鋼、石炭、コークス、石油、火藥、選鑛劑、
勞務物資、輸送用資材)

(スポット)

▽昭和二十五年設備資金の見透し……………一六

☆金鑛業復興對策に關する閣議決定……………五九

★復興鑛山展「紙上公開

漫画と漫文 小野佐世男…六〇

☆全國鑛山探鑛擔當者會議を省みて

東 宣 夫…六三

☆時の動き

▽國會から・産金政策質問……………六五

▽第三回鑛山議員懇話會……………六六

▽鑛鑛石鐵道運賃等級改訂と割引……………六七

▽ニュース……………六九

▽資 料……………七一